

観光業と農業とのマッチングの事例

一部地域においては、観光業に従事していた雇用希望者と、人手不足の農業経営体とのマッチングが図られた結果、一時休業中の雇用の生計維持に貢献した事例がある。

群馬県嬭恋村における事例

【関係団体】

嬭恋村、嬭恋キャベツ振興事業協同組合

【時期】

4月中旬～

【人数】

約220人（目標値）

【概要】

入国制限等の影響により外国人技能実習生を受け入れられず、人手不足となっているキャベツ農家等において、宿泊施設や飲食店の従業員が就労。嬭恋村は、農家で働く労働者に対し支援金を支給。



キャベツ農家で働く
宿泊施設の従業員
(毎日新聞 6月6日)

埼玉県等における事例

【関係団体】

農協観光、J A

【時期】

6月初旬～

【人数】

約100人（マッチング済み）

【概要】

6～7月の約2か月間、農協観光の社員100人以上をJ Aが受入。J Aさいたまの場合、農協観光の職員6人を臨時で雇用し、J A直売所等で勤務。



J A直売所で働く
農協観光の職員（右）
(日本農業新聞 6月4日)

秋田県仙北市における事例

【関係団体】

仙北市

【時期】

5月下旬～

【人数】

2名（仙北市が試行的に実施）

【概要】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月中旬から休業し、自宅待機となっていた乳頭温泉郷の宿泊施設の従業員が、仙北市の仲介により、水田で田植え作業に従事。



田植え作業に従事する
乳頭温泉の従業員
(秋田魁新報 5月30日)

鳥取県三朝町における事例

【関係団体】

三朝町、三朝温泉旅館協同組合、
J A鳥取中央

【時期】

5月中旬～

【人数】

約20人（マッチング済み）

【概要】

三朝町が、三朝温泉旅館協同組合から従業員の雇用確保について相談を受け、慢性的に人手不足となっていたJ A鳥取中央とマッチング。温泉旅館の従業員約20人がラッキョウ農家やスイカの選果場に勤務。



ラッキョウ農家で働く
三朝温泉の従業員
(毎日新聞 6月2日)

背景

- 自動車運送事業(トラック・バス・タクシー事業)の運転者不足が深刻化しており、運転者の労働条件・労働環境の改善が急務。
- 自動車の運転業務について、2024年4月に、年960時間(=月平均80時間)以内の時間外労働上限規制(罰則付)が導入。

政府における検討

自動車運送事業の働き方改革に関する関係省庁連絡会議
「自動車運送事業の働き方改革の実現に向けた政府行動計画」



国土交通省 「自動車運送事業のホワイト経営の「見える化」検討会」



「働きやすい職場認証制度」の創設

制度の目的

- 認証制度を通じ、認証事業者の労働条件や労働環境を求職者が容易に確認できるようにすることにより、トラック・バス・タクシーの運転者への就職を促進。
- 自動車運送事業者が認証基準を満たすために様々な改善に取り組むことを通じて、より働きやすい労働条件・労働環境の実現等。

※現在、制度の開始に向けての最終的な調整を実施中。